



# 千歳セントラルロータークラブ

## ROTARY INTERNATIONAL District 2510

RIテーマ「ローターを実践し みんなに豊かな人生を」  
 クラブ・モットー「積極的に参加する いつもニコニコ千歳セントラルロータークラブ」

発行 千歳セントラルロータークラブ 会長 武田伸也 / 副会長 井上英幸 / 幹事 尾本眞二 / 会報委員会 委員長 福島 力  
 〒066-8520 北海道千歳市本町 4 丁目 4-4 ホテルグランテラス千歳 TEL.0123-26-5788 FAX.0123-25-9112  
 Mail.membership-office@ccrc.jp HP.http://www.crc.jp Facebook.http://www.facebook.com/chitosecentral

### WELCOME 副会長 井上 英幸

本日は、体験ツアー報告会にあたり大勢のゲスト、ビジターの皆様にお出でいただきました。歓迎申し上げます。

- 谷 駿之介 君 ツアー参加者 千歳中学校 2 年生
- 谷 直美 様 お母様
- 谷 涼帆 ちゃん 妹さん 8 歳
- 津坂 真優奈 さん ツアー参加者 千歳中学校 2 年生
- 津坂 真也 様 お父様
- 津坂 寿子 様 お母様
- 岩淵 光理 さん ツアー参加者 千歳中学校 1 年生
- 岩淵 真奈 様 お母様
- 高橋 知衣那 さん ツアー参加者 青葉中学校 3 年生
- 高橋 美香 様 お母様
- 牧野 絵里 さん ツアー参加者 富丘中学校 2 年生
- 牧野 泉美 様 お母様
- 牧野 心絆 ちゃん 妹さん 1 歳
- 稲井 優子 さん ツアー参加者 富丘中学校 1 年生
- 稲井 容子 様 お母様
- 住吉 顕伍 君 ツアー参加者 北斗中学校 3 年生
- 住吉 美奈 様 お母様
- 坊野 涼太郎 君 ツアー参加者 北斗中学校 2 年生
- 黒川 佐和子 様 おばあ様
- 和泉 舞子 様 ツアー参加者 向陽台中学校 3 年生
- 和泉 真寿 様 お母様
- 藤田 あさひ さん ツアー参加者 向陽台中学校 2 年生
- 藤田 由加里 様 お母様
- 温井 文雄 様 千歳中学校 校長
- 佐々木 一 様 富丘中学校 校長
- 出村 好孝 様 向陽台中学校 校長
- 佐藤 誠 様 北斗中学校 教頭
- 島津 一久 様 千歳市教育委員会 担当課長
- 佐藤 元康 様 (社)千歳青年会議所 理事長
- 南雲 勇次 様 (社)千歳青年会議所 専務理事

例会出席状況 (2013 年 11 月 5 日)	
会員数	34 名
会員出席者数	26 名
欠席者数 (内: 無断欠席)	8 (0) 名
出席率	76.47 %
ゲスト・ビジター出席者数	35 名
出席者数総計	61 名

前回例会 確定出席率 (2013 年 10 月 22 日)	
確定出席率 (MU 含む)	70.59 %

11 月 誕生月の会員 ※誕生会は親睦例会で行います。	
多賀 勲 会員	1942 年 (昭和 17) 11 月 3 日生
古木 克紀 会員	1947 年 (昭和 22) 11 月 2 日生
成田 宏明 会員	1966 年 (昭和 41) 11 月 10 日生
比原 隆志 会員	1968 年 (昭和 43) 11 月 24 日生

11 月 入会月の会員	
齊藤 博司 会員	1990 年 (平成 2) 11 月 19 日
坂井 治 会員	〃
佐々木俊英 会員	〃
白木 松敏 会員	〃
高塚 信和 会員	〃
土居 栄治 会員	〃
羽芝 涼一 会員	〃
松坂 敏之 会員	〃
武田 伸也 会員	2004 年 (平成 16) 11 月 9 日

- 大川 健一 様 RI 第 2510 地区 第 7G ガバナー補佐
- 齊藤 博徳 様 千歳ロータークラブ 副会長
- 吉岡 毅 様 千歳ローターアクトクラブ 会長
- 佐藤 あさみ 様 千歳ローターアクトクラブ 副会長
- 北村 秀美 様 千歳ローターアクトクラブ 幹事
- 白木 郁江 様 千歳ローターアクトクラブ 会計

**会長あいさつ 会長 武田 伸也**

皆さん こんばんは。  
 今夜は大勢のお客様をお迎えしています。お忙しい中、ご出席頂きまして、ありがとうございます。  
 ツアーに参加した生徒の皆さん、お久しぶりです。お元気でしたか？ 絵理さん、ツアーの後に体調崩したと聞いています。もう大丈夫ですか？ ツアー行程の 1 日目は少し過密日程でしたから疲れましたね。絵里さんごめんなさい。  
 さて一昨日、東北楽天イーグルスが日本シリーズで勝利し見事日本一となりました。これまで私は、日ハムが同じく日本一となった時に札幌ドームでその感動の中にいました。しかしながら、今回の楽天の場合は、テレビで観ていただけなのですが、異常に興奮してしまいました。  
 星野監督が勝利後のインタビューで「東日本大震災復興のために・・・」と語られていました。この言葉のとおり、選手、仙台、東北、北海道の人々、そして日本国民が、同様の思いを胸に抱いていたのだと思います。たぶん、ジャイアンツ以外の多くの野球ファンは心をひとつにして楽天を応援し、優勝の瞬間を喜んでいたのではないのでしょうか。  
 私自身、マー君効果もありましたが、いつのまにか一生懸命に楽天を応援していました。久々に面白い日本シリーズを見せてもらいました。  
 そして、この度実施させて頂いた「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアー」の詳細は報告会でのご案内させて頂きますが、まずは事故もなくお預かりしたお子様たちと共に千歳に戻って参りました。本日の報告会を以て事業の全行程が終了致します。  
 今回の事業に興味を抱き、ご理解頂き、参加頂いた生徒の皆さん、保護者の皆さん、そして学校関係者の方々、関係企業・団体の皆様へは深く感謝申し上げます。  
 これよりもうしばらくローターのプログラムにお付き合い頂き、早速に報告会を行います。本日はよろしく願い致します。



**幹事報告 幹事 尾本 眞二**

- 千歳ローターアクトクラブ第 8 回例会「親睦ワイン例会」のご案内
  - 日時：11 月 21 日(木) 午後 6 時 30 分開会
  - 場所：ベルクラシック リアン 平安閣
  - 会費：5,000 円
  - 申込み締切：11 月 15 日 (金)
- 新会員 1 名の推薦が本日の理事会で承認されました。会員選挙の通知をメール・FAX で行います。

**各委員会報告・連絡**

**第 2510 地区 国際奉仕委員会 副委員長 田口 廣**

前年度の海外支援事業で当クラブが関わってきた事業はタイ ノンカイ地方の図書事業、アムナットチャロエン地区での医療機器（人口呼吸器）事業、クリーンウォーター（浄水器設置）事業、この事業は 10 月の半ばに全て完了しています。また、地区の 72 クラブのうち 31 のクラブが参加しております。第 1 グループでは留萌、深川 R C、第 2 グループでは赤平、砂川、滝川 R C、第 3 グループでは当別、江別西、江別 R C、第 4 グループでは札幌北、札幌モーニング、札幌手稲、札幌はまなす R C、第 5 グループでは札幌東、札幌清田、札幌真駒内、札幌南、新札幌 R C、第 6 グループでは小樽、余市 R C、第 7 グループは千歳セントラルだけです。第 8 グループは三石、様似、静内、浦河 R C、第 9 グループは室蘭、室蘭北、登別 R C、第 10 グループは函館、七飯、森、長万部 R C の 31 クラブです。前年度の事業の検証ツアーは来年 1 月 9 日から始まります。6 日間行って来ますので、是非行きたいと思われる方は参加していただきたいと思います。費用は 26 万円と非常に高いのですが、実は現地の陸路のバス代が非常に高いそうです。来週いっぱい申し込みとなります。宜しくお願いします。



**第 2510 地区 奨学委員会 委員長 齊藤 博司**

昨日、札幌で地区のローター財団奨学生第 2 回オリエンテーションがありました。当クラブから派遣する畑村さんも一緒に参加して参りました。12 日の例会では畑村さんも出席する予定ですので宜しくお願い



いします。

**千歳ロータリーアクトクラブ 副会長 佐藤 あさみ**

12 月 9 日 (月)、千歳ロータリーアクトクラブ主催東日本大震災復興支援のチャリティピアノコンサートを開催します。たくさんの方のご来場をお待ちしておりますので、宜しくお願いします。



**次年度理事指名委員長選出 会長 武田 伸也**

千歳セントラルロータリークラブ次年度理事指名についてのお話でございます。先日、次年度理事の立候補を受け付けましたところ、本日正午の締切りまでに立候補者はありませんでした。細則第 3 条第 1 節により会長である私が次年度理事指名委員会委員長を指名させていただきます。恒例によりまして直前会長の彦坂忠人会員を指名させていただきますのでご報告申し上げます。引き続き、彦坂指名委員会委員長より指名委員の発表をお願いします。

**次年度理事指名委員発表**

**次年度理事指名委員会 委員長 彦坂 忠人**



指名をいただきました彦坂です。早速、指名委員を発表させていただきます。第 1 回指名委員会を 1 月 14 日 (木) 午後 1 時 30 分より事務局

で予定しておりますので宜しくお願いいたします。

- 委員長 彦坂 忠人
- 委員 白木 松敏
- 〃 坂井 治
- 〃 多賀 勲
- 〃 高木 昌人
- 〃 手島 和枝
- 〃 羽生 有三 (順不同)

**本日のプログラム**

**通常夜間例会**

**「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアー 報告会」**

**担当/社会奉仕委員会 委員長 松坂 敏之**

**進行/出席・ニコニコ箱委員会 副委員長 菅原百合子**

**菅原 百合子 会員**

それでは、これから「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアー」の報告会に入らせて頂きます。

今回の体験ツアーに同行させて頂きました

菅原と申します。進行役を務めさせていただきます。よろしくお願いいたします

では早速、「体験ツアー」を記録した映像からご覧頂きます。武田会長、よろしくお願いします。



**映像記録 会長 武田 伸也**

まず、最初に映像をご覧いただきご紹介させて頂きたいともいます。保護者の方にお詫びがございます。NHK 仙台のニュースで今回の事業が放送



されましたが、都合により本日ご覧になれなくなりました。後日、今日の写真と NHK の番組を DVD に収めてお送りしますのでご了承ください。では、ご覧下さい。



**体験ツアー報告**

**社会奉仕委員会 委員長 松坂 敏之**

武田会長のご挨拶や恰好のいい映像を見てまた思い出したのではないかと思います。私も順序が整った画面を見ながらまた新たに見ておりました。なぜ皆さん方がこのような段取りで行くことができたか、岩沼ロータリークラブも大変応援してくれました。これは岩沼ロータリークラブには考え方があります。私も初めて聞いてびっくりしました。「被災地責任」という言葉です。被災してはじめて知った悲しみ、つらさ、絶望感、そして友情、感謝、体験して知ったノウハ



ウをお世話になった人たちにお返りする。どうやったら災害を防げるのかという事を教えるのも我々の責任である。これが被災者責任という事です。被災した者が、みんなに困った事があった場合はこのようにしたほうがいいと全国的に知らせるためにこういう事業をやることは大切な事です。私たちは何かしてあげることはないかと模索する一方で、彼らはそんなことを考えています。それがローターの気持ちです。若い方に災害がどれだけ悲惨なものなのか分かって欲しい、そして役立ててほしい。岩沼ロータークラブの方が言っていました。何かあった時にてんでばらばらに逃げなさい。どこか逃げる場所を決めておいて自分勝手に逃げなさい、それが助かる方法ですと言っていました。そんなことも一つの方法かと思います。

私達が何かしたいと思う気持ちと同時に、彼らはそういう気持ちを持っていることを皆さんに伝えたいということでした。それが、皆さんが行ったときに一生懸命応援してくれた理由です。

私達が行って大変学んだことがあります。

中学生の皆さんは大変大人だなあとこの事です。いろいろな事を知っていますし、みんなの前でも堂々と発表していました。と思う瞬間と、すぐ子供に戻る瞬間と、そのギャップの激しさに驚きました。行った最初の時は緊張してがちがちでした。飛行機に乗って着いても大変お行儀が良かったです。しかし次の日になって起きたらがらっと変わっていました。ハードスケジュールだったのものですから、後半は、ぐったりして眠っていました。千歳に帰ってきて、親御さんの顔をみた瞬間、素に戻っていました。それも印象に残っています。

大変勉強家で一生懸命体験してきました。知識もすごいのですが、我々は出来るだけ子供たちに教えませんでした。会長は五感で感じて欲しい、どんな意味なのか自分自身で感じてほしい、それが体験ツアーだからです。個人個人の体験はみんな違うと思います。今日は、簡単な文章を皆さんに発表していただくこととなります。やはり、知識よりは「百聞は一見に如かず」で皆さんが見てきたことの尊さをこれからの生活に生かしてもらいたいと思います。復興のた

めに一生懸命頑張っている人達の気持ちを理解して、明日から頑張してほしいと思います。

「千年希望の丘」の提唱者は横浜国立大学の宮脇昭教授が提唱し、緑の防潮堤を作ることによって津波を防ごうという考え方です。岩沼市はそれを率先して行っています。いろいろな考え方がありますが、一つだけ言えるのは、今結論を出す話ではなく、未来に向けて何かが残ったとき、発掘されて昔の人は偉かったと言われるかもしれないし、役に立たないと言われるかもしれません。しかしその努力は何らかの形で残るのではないかと思います。「千年希望の丘」の防潮堤が将来役立つことを願っています。

### 感想文発表

#### 千歳中学校 1年 岩淵 光理



私が岩沼市に行って感じたことは、約 2 年半もたっているのに、元の生活に戻っていません。とても胸が痛かったです。なぜなら、人々は自由な生活をしていないからです。仮設住宅に住んでいる人、家族や友達が亡くなって辛い思いをした人など、私達には、経験したことのない辛い思いをしたと思うからです。津波は、物だけでなく、人々の幸せも奪ってしまったのです。

今回、海の近くの小学校に行くと、小学校の中はぐちゃぐちゃ。幸い生徒は、全員無事だったそうですが、家などを流す津波の恐ろしさを実感しました。

テレビを見ているだけでは分からない、今の現状を私達は見てきました。そこで見てきた事を千年先まで伝えていく義務があると思います。

今回、私は「協力」の素晴らしさを学びました。もっと協力して元の生活に戻れるようにしたいです。お世話になった千歳セントラルロータークラブの皆様ありがとうございました。

#### 千歳中学校 2年 津坂 真優奈

私は、宮城に行って色々な体験をしてきました。

自分が思っているより復興がされており、何より安心しました。でも、まだそのままの建物があり、津波の恐ろしさを実感しました。

私が一番衝撃を受けたのは、小学校です。その小学校



は、津波がきてからそのままにしてある小学校です。壁がなかったり、泥などが付いていました。その小学校は、全員が屋上に登って全員が助かったそうです。それを聞いて、良かったなあと思いました。もちろん、安心ばかりではありません。中学校に訪問して、校長先生の話の聞いていると、だんだん悲しくなってきました。その中学校では、生徒 2 名が亡くなったそうです。これを聞いて、私は悲しい気持ちになって、改めて津波の恐ろしさを実感しました。

そして、千年希望の丘では、まだまだ作業が続くそうです。私は千歳から応援しています！！

これらのように、私はたくさんの経験をしてきました。津波の恐ろしさも学びました。

今回、このような貴重な体験ができたので、また、こういう機会があれば参加したいと思います。ありがとうございました。

### 千歳中学校 2 年 谷 駿之介



僕は、今回の体験学習のすべてが衝撃でした。

まず、仙台空港を出てバスへと向かっている時に見た津波の到達位置です。仙台

空港は、海から 1 km 以上離れた場所にあります。それにも関わらず、2 m 近い位置まで津波がおしよせたそうです。そこでようやく僕は、東日本大震災で被害を受けた場所に来たのだという実感が湧きました。

仙台空港を出て、バスで移動の時に海側の方に目をやると、そこには何もありませんでした。あの地震が起きるまでは、集落があり民家が建ち並んでいたそうですが、そんな面影もなく一面、雑草が生えているだけでした。僕がテレビなどで見てきたのは、津波が押し寄せて民家を飲み込んでいる様子や、建物などの残骸の山が無数に広がっている様子だけで、現在の状況は全く分かりませんでした。僕は、もっと瓦礫がたくさんあるものだと思っていたのですが実際、瓦礫は今年の夏までに 99% 処理し終わっていたそうで、今は震災後にできた海岸沿いの瓦礫の処分場も撤去が始まっているそうです。

その日の午後、海からわずか 300m しか離れていないにもかかわらず一人も死者を出さなかった中浜小学校を訪れました。その小学校は、どこか異質な感じがしました。小学校の周りというのは町の中の住宅街が広がっているような所にあると思いますが、この小学校の周りも雑草だけでした。津波は、なんと小学校の二階部分まで押し寄せたそうです。およそ 6~7 メートルの波がきたのだと思います。学校の中に入ると、ぞっとしました。全身がざわざわして心

地悪い感じでした。中は、見るも無残な姿になっていました。教室だった所は、黒板はなくなり、戸もとれ、窓もありません。見ているだけで悲しかったです。でも、この中浜小学校は、これからも残していくべきだと強く思います。地震や津波の被害があったことを忘れてはいけないうし、伝えなければならぬので、こうした被害にあった建物を残すことで多くの人に東日本大震災の事を伝える事が出来ると思います。

僕は、この他にも様々な場所を見学してきました。その中であの東日本大震災という大きな困難を乗り越えることができたわけを、自分なりに考えることができました。それは、「つながり」です。みんなが、「助けたい、復興したい」と強く願い、思いが一つになったことで、心が通じ合い復興できたのだと思います。しかし、現代の人々はそんな「心をつながり」を忘れがちです。思いやりのない悲しいいじめも起こっています。僕は、そんな現代の風潮に流されず、周りとのつながり、ちょっとした人との関わり合いを大事にしていきたいと思います。千歳セントラルロータリークラブの皆さん、今回は本当にありがとうございました。

### 青葉中学校 3 年 高橋 知衣那



私は今回の経験を通して沢山の事を学ばせてもらいました。

その中でも、特に心に残った事は、山元町中浜小学校を見学した事です。

震災から時間が止まったような感じで、言葉では言い表す事ができない気持ちになりました。

全員が助かった事は、本当にすごい事だと思いました。被災地の方は今を生きています。

悲しい過去と向き合いながら、今を笑顔で暮らしています。私たちに関係のない事では決してありません。私たちは今、直接的に復興の手助けはできませんが、決して忘れない事。少しでもできる事を考える事。それだけでも何か変わるのではないのでしょうか。日本国民全員の問題です。

私は今回、このツアーに参加して貴重な体験をさせてもらいました。本当に良かったと思っています。千歳セントラルロータリークラブの皆様どうもありがとうございました。

### 富丘中学校 1 年 稲井 優子

宮城県岩沼市に行きました。仙台空港に着き、バスでいろいろな場所をまわりました。

まず、最初に私が思ったことは、町を見渡すと工事をしている所が非常に多いと思いました。そして、がれきは思った以上に多くなく少し安心しました。



海のそばにある小学校に行きました。海の近くなので津波の被害が大きく、どこに何があったのか、など跡形もなくなっていました。

お昼ごはんは、玉浦中学校のみなさんと一緒に給食を食べました。とてもおいしかったです。

千年希望の丘に行きました。がれきで出来ているとは思えないくらい立派でした。千年希望の丘にみんなで木を植えました。少し大変だったけどとてもいい経験になりました。

この体験ツアーをとおして、今の被災地の様子が、よくわかりました。そして津波がきた時のことがテレビで見ると、被災者から聞く方がより伝わってきました。これからは、被災地の人達のことを忘れずに過ごしていきたいです。

### 富丘中学校 2年 牧野 絵里



今回の一泊二日から戻った後、あまりの現実に私は体調を崩し、一週間寝込んでしまいました。一泊でさえこんなことになるのに、これが一瞬で起きて、

何日も何カ月も避難生活をしている方が大勢いるのかと思うと、本当に辛いです。

今回、被災地を訪れ、テレビや新聞と比べて感じたことがありました。被害を受けた範囲です。岩沼市はだいたい、市の半分が津波の被害を受けましたが、テレビを見ていた私は、市全体、県全体がテレビの映像のように思っているのだと思っていました。報道だけではわからないけど、実際に行き、自分で見てわかることもあるのだと実感しました。

千年希望の丘から見たきれいな海が、津波となって襲ってきて、沢山の人が犠牲になったということもとても胸が痛みました。

私たちが訪れた玉浦中学校では、震災当時、もちろん今も、中学生がボランティアに積極的だったそうです。自分たちも困っているはずなのに、大人ですら混乱してしまうなか、自分たちができる事を見つけ、行動に移すことができるのはすごいと思いました。同じ中学生として、見習いたいと思います。思っているだけではなく、行動に移す勇気を教えてもらいました。

東日本大震災は、全ての人々にとって本当に辛く悲しい出来事でした。しかし、学べたこともたくさんあると思います。みんなで助け合い、感謝の心・絆を大切に、一つでも沢山の「ありがとう」を言うてもらえるように頑張ります。

今回ツアーに参加して本当に良かったです。ありがとうございました。

### 北斗中学校 2年 坊野 涼太郎

二日間の体験ツアーが終了して、三週間以上がたちました。



二日間の体験は今でも鮮明に感じています。僕が実感したのは、被災にあった人の苦しみや悲しみです。今でも仮設住宅に暮らしている人は少

なくはありません。その事を知ったのは、体験ツアー一日目の玉浦中学校の訪問の時です。津波の被害を受けた中学校の一つで、二人の生徒がお亡くなりになられたと聞いて、自分では衝撃を受けました。その後、他の生徒は作文で「頭が真っ白になった」と書かれていました。それは、津波で家がぐちゃぐちゃになってしまっている事でした。そのため、家がなくなった生徒は仮設住宅で暮らしています。当たり前であった事が出来なくなるというつらさはどれだけ悲しいか。身にしみて分かりました。

千年希望の丘では、この震災でお亡くなりになった人に花束をあげました。他にも植樹活動をしました。海には堤防がありました。しかし、陸側は津波の災害を受けて焼け野原みたいになっていました。他には廃校となった中浜小学校を見ると、厚さ十五センチ位はあるガラスも粉々で、壁ははがれ落ち、天井は穴が開いていました。

この体験を通して、津波は想像を絶する恐怖だということが分かり、およそ三分の間にどれだけの人が亡くなったか自分の目で見て実感しました。

被災地が一日でも早く復興できるよう心から願っています。

### 北斗中学校 3年 住吉 顕伍



今回、この体験ツアーで宮城県に行って、まず思ったことは、空港を出てすぐの津波の到達地点です。この高さを見て、もし自分がここにいたらと思

うと怖くなりました。

二日間という短い時間でも感じる事がたくさんあり、特に海の近くにあった小学校や希望の丘が印象に残っています。希望の丘から見た景色は、家があったと思われる場所などがあり、津波の強さがわかりました。

このツアーに参加してたくさんわかったので、いい体験ツアー

になったのではないかと思います。

### 向陽台中学校 2 年 藤田 あさひ



私は宮城県に着いた時、まだ宮城県にいるという実感があまりありませんでした。しかし、玉浦中学校の校長先生や市役所の人の話を聞いたり、

千年希望の丘に木を植えたり、被災して今は使われていない中浜小学校の校舎の中を見たりし、被害の大きさをあらためて自分の目で見て感じました。

特に印象に残っているのは、やはり海岸近くにあった中浜小学校の校舎の中です。学校の中には、津波で流されてきたものや学校で使っていたと思う机や楽器などが散乱していました。

私は、被災地の今の状況を自分の目で見て、たくさんのことを学びました。家族がいる喜び、何不自由なく暮らせていることなど、他にも色々なことをたくさん学びました。

これからは宮城県を始め被災した人のことを思いながら、生活していきたいです。そして今回お世話になった千歳セントラルロータークラブの皆さん、本当にありがとうございました。

### 向陽台中学校 3 年 和泉 舞子



今回の体験ツアーでは、まだ災害の後もう少し残っていた場所などを見させていただき、たくさんを経験をすることができました。

まず思ったことは、震災の時の津波などの影響があったのに、瓦礫などがほとんど落ちていなかったことに驚きました。ただ、家が建っているのに、壊れている家が多く、その周りには家が全然なく草原が広がっていました。立っている大きな建物には、津波がどこまで来たか印がついていました。もっと、津波が小さいと思っていたので、私の何倍以上も津波がきていたことにびっくりしました。

千年希望の丘では、植樹活動を初めてやり、大変だったけど、その木がこれから大きくなり、津波に耐えて宮城県を守るものになってほしいです。

最後に、玉浦中学校の校長先生や岩沼ロータークラブの方々が出ていた、「命を大切にしろ」ということをこれから考えていきたいと思いました。

一緒に行った皆、千歳セントラルロータークラブの方々、

ありがとうございました。

### 報告会総括 副会長 井上 英幸



参加された生徒の皆さん、日程的にはたった一泊二日の体験ツアーでしたが、先ほどの話を聞いてそれぞれ貴重な経験をされてきたと改めて感じました。冒頭、武田会長が五感で感じてほしいと申し上げましたが、それぞれ 10 名の方々が五感で感じる事が出来たのではないかと思います。

本日は、中学校の校長先生や教育委員会の方がお見えになっています。子供たちの中から中浜小学校の話が出てきました。59 名の生徒全員が津波の被害から逃れた学校です。学校教育基本法というのがありますが、いざ災害になると基本的には自宅に帰すというのが決まっている事柄だと聞いています。中浜小学校校長先生はとっさの判断で屋根裏に避難させて全員の命を救ったという事です。かたや避難をさせて子供達が津波の被害に遭いお亡くなりになった学校も報道されています。また、避難させるために幼稚園バスをわざわざ海沿いの方向に走らせて、津波にのまれて亡くなったという報道も聞きました。この違いはいったい何なのかと行く前から私も常々考えておりました。その時、その場所に立ったリーダーの決断の在り方の違いだと私は理解しています。正しい判断、正しい決断ができるかということは勿論のこと、確かな知識と経験、そして勇気がなければそのような決断を下せないと思います。仙台市内の交差点で信号が赤になり女性のドライバーは津波が後ろから押し寄せてきているのに、信号が赤なので止まっていたそうです。後ろから追従する車が次々に津波にのみこまれていくシーンを報道で見ることができました。時と場合によっては、赤信号を無視してでも命から逃げなければならぬと思います。学校でそのような事を教えるのは難しいかもしれませんが、けれども普段から正しい知識、正しい判断、正しい決断、そしてそれを実行する勇気を子供達が身に付けていくことが出来れば、もっと多くの方が助かる機会があったのではないかと思います。

とても情報が発達している世の中です。千歳市内の中学

校の修学旅行は飛行機に乗って奈良、京都に行かれるそうです。そういう修学旅行もいいかもしれませんが、こういった被災地を訪れて今日発表された 10 名の子供達の話聞くが如く、命の大切さ、いざという時の決断の大切さを学んでいく修学旅行を企画されてもいいのではないかと私は思っています

皆様のご協力のもと、無事に体験ツアーを終わることができました。今日の報告会を持って全て終了という事になりますが、皆さんが一人一人発表されたこと、千年先まで皆にしっかり伝えていって欲しいと思います。大変有意義な二日間でした。有難うございました。

**お礼の挨拶 会長 武田 伸也**

10 名の生徒の皆さんに作文を発表してもらいましたが、大変立派な作文でした。実は、手元にある報告書に作文を載せるため、皆さんの作文に目を通しました。読みながら大変目頭が熱くなりました。大変素敵な作文を有難うございました。ご縁がありましたら、また皆さんどこかで会いましょう。それまで皆さんが立派に成長されていることを期待します。本当に有難うございました。

**報告会閉会 菅原 百合子 会員**

以上で「宮城県岩沼市“千年希望の丘”体験ツアー 報告会」を終了させていただきますが、7 月 17 日からの参加者募集、9 月 29 日の説明会、そして 10 月 11・12 日の体験ツアーの実施、今日に至るまで約 4 か月の間、生徒の皆さん、そして保護者の皆様とご一緒させていただきました。ありがとうございました。

そして今回、私たち千歳セントラルロータークラブの事業に、ご理解とご協力を頂きました保護者の皆様、中学校・各関係団体の皆様には、深く感謝申し上げます。

私たちは、今回の事業の実績と経験をいかし、更にロータリーとしての奉仕事業に取り組んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

それでは、「報告会」を終了させていただきます。ありがとうございました！



## 次回例会案内

プログラム委員会 委員長 尾本 真二

次回例会は 11 月 12 日 (火)、通常例会「奨学生 畑村奈津子さんを迎えて」です。会場は開会点鐘 12:30、定例会場です。担当は地区奨学委員会です。

## 新会員研修会

例会終了後、新会員研修委員会により入会 3 年以内の会員を対象に研修会が行われました。



## SCHEDULE

<b>ローター-財団月間</b> ■世界インターアクト週間 ■創立記念日(1990.11.19) ■指名委員会選出	
11月	12日 通常例会「奨学生 畑村奈津子さんを迎えて」[担当/地区奨学金委員会(齊藤委員長)] 19日 親睦夜間例会「創立記念 in 支笏湖」[担当/親睦活動委員会(笹谷委員長、高木副委員長、岩下委員)] 21日 千歳ローターアクトクラブ 例会 26日 通常例会「次年度事業日(案)の発表」[担当/会長エレクト]
<b>家族月間</b> ■年次総会 ■次年度理事指名・選出 ■クリスマス家族会	
12月	3日 定例理事会 午後5時 事務局 通常夜間例会「年次総会」[担当/理事会] 10日 通常例会「卓話 千歳市民の法律相談～弁護士のできること、できないこと 講師/千歳法律事務所 弁護士 高田周一郎様」[担当/会員増強委員会(井上委員長、高塚副委員長)] 17日 親睦夜間例会「クリスマス家族会」※会員家族出席 例会 [担当/親睦活動委員会(笹谷委員長、高木副委員長、岩下委員)] 24日 休会 (定款第4条第1節) 31日 休会 (法定休日為準/大晦日)
<b>新年交礼会</b> ■上半期活動・会計報告	
1月	7日 親睦夜間例会「新年交礼会」[担当/親睦活動委員会(笹谷委員長、高木副委員長、岩下委員)] 14日 移動例会「厄除け/千歳神社」[担当/幹事] 16日 千歳ローターアクトクラブ 例会 21日 通常夜間例会「上半期活動・会計報告」[担当/理事会] 28日 通常例会「未定」[担当/クラブ研修、新会員研修委員会(坂井委員長)]
<b>世界理解月間</b> ■ローター-創立記念日・世界理解と平和の日会 ■雪見酒	
2月	4日 定例理事会 午後5時 事務局 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会] 11日 休会 (法定休日/建国記念日) 18日 親睦夜間例会「雪見酒」[担当/親睦活動委員会(笹谷委員長、高木副委員長、岩下委員)] 20日 千歳ローターアクトクラブ 例会 25日 通常例会「未定」[担当/地区国際奉仕委員会(田口副委員長)]
<b>識字率向上月間</b> ■世界ローターアクトの日 ■世界ローターアクト週間 ■会長エレクト研修セミナー	
3月	4日 定例理事会 午後5時 事務局 通常夜間例会「クラブ協議会」[担当/理事会] 8日 会長エレクト研修セミナー (札幌) 11日 通常例会「未定」[担当/出席、ニコニコ箱委員会(手島委員長、菅原副委員長)]